



# 森林の役割と里山の利用を学ぶ 3月22日(日)

## 里山部会&クラフト部会と協働による研修例会

3月例会

in 小川フィールド(白木町)

参加者：36名



それぞれの研修は充実した学びのひと時に。終えてホッとひと息つきました。

早咲きの桜も咲き始め光は明るさを増し、春の訪れが感じられる当日、天気は午後から雨予報でしたが空も味方して、仕事日和に！

里山部会とクラフト部会合同で「小川フィールド」において「里山の多様性や循環機能」について、作業を通じて再認すると共に、作業で使用する機器操作の伝承の例会となりました。活動内容はA～D班。

### A 班) ヒノキ林の掛かり木「コナラ」伐倒。

チルホールを活用し引き倒し、材は薪やシイタケ原木として利用するための処理。

### B 班) 獣害対策の為に、笹藪化したエリアの除伐作業。

刈り払い機を利用した除伐活動であるが、刈り払い機の使用経験の浅い方へは取り扱い操作並びに、安全な刈り払いの基本知識についても指導。

### C 班) 間伐したヒノキをロープウインチでの集材体験。

伐倒した材をどの場所へ、どのように安全に集積するか。ウインチ・滑車の設置操作を共に学びました。

### D 班) 簡易製材機を活用した間伐材の製材体験 (経験者が指導)

チェーンソーの簡易製材機を操作し、間伐材をスライスし板材を製作。機械操作の難しさ機器の取り扱いについて全員が体験。

普段、中々できない体験に挑み、緊張と新鮮さが相まって充実した学びの時となったようです。また、森林の役割、里山の利用について「もりメイト号」はどう担っていきけるか、今回のような様々な作業を通して、興味が注がれ深まり、さらなるスキルアップにつなげられるようにと願ってやみません。なお、倶楽部で取り組んだ部会の協働による初の例会でしたが、準備万端整えていただき誠にありがとうございました。

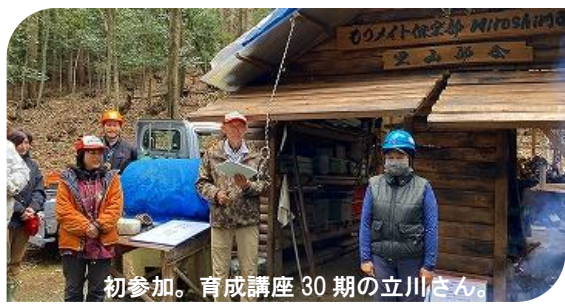
副理事長：富田 実

#### 3月例会スケジュール

8:30	受付開始	
9:00	集合	班割 整列
	開会挨拶	理事長 山本 恵由美
	新メンバー紹介	
	スケジュール	タイムスケジュール説明
	作業内容	作業目的 班毎の作業エリア
	安全について	作業等の注意事項 4班 佐藤
	ラジオ体操	
9:45	午前の作業開始	作業前打ち合わせ
12:00	昼食	
13:00	午後の作業開始	
14:30	作業終了	道具の手入れ片付け
15:00	反省会・閉会	各班 講評(ふりかえり)
		チェーンソーの使用状況 集合写真撮影



始まりはミーティングから。



初参加。育成講座 30 期の立川さん。